

3. オーバーラップ症候群 overlap syndrome

同義語：重複症候群

定義

2つ以上の膠原病（SLE, DM/PM, SSc, 関節リウマチ, Sjögren 症候群など）の診断基準を満たした症例に対して用いられる病名である。膠原病患者の約 1/4 が当てはまる。日本では SLE/SSc オーバーラップの症例が多い。近年は各診断基準を満たさなくても、複数の膠原病の症状があるものを広くオーバーラップ症候群と称する傾向にあり、MCTD（前項）も本症の一型とみなすことができる。

検査所見

SLE 特異抗体（抗 dsDNA 抗体, 抗 Sm 抗体）, SSc 特異抗体（抗 Scl-70 抗体）, PM/DM 特異抗体（抗 Jo-1 抗体）, さらに SSc と PM の組合せ例において抗 Ku 抗体陽性となることが多い（表 12.9）。

診断・治療

基本的に各膠原病の診断基準を完全に満たす。日本では、抗 U1-RNP 抗体陽性かつ MCTD の診断基準を満たしている例では MCTD と診断する。原則として最も顕著な症状に注目し、各膠原病の治療指針に基づいて行われる。

4. 抗リン脂質抗体症候群

antiphospholipid (antibody) syndrome ; APS

★

Essence

- リン脂質と血漿蛋白の複合体に対する自己抗体が生じることにより、全身の動静脈に血栓塞栓症を生じる。
- “抗リン脂質抗体”は総称。具体的には抗カルジオリピン抗体やループスアンチコアグラントなど。
- 習慣流産、虚血性心疾患、チアノーゼ、下腿潰瘍、リベドを特徴とする。SLE に合併しやすい。

症状

皮膚の動静脈に血栓塞栓症を生じる。静脈の変化によりリベドや血栓性静脈炎、下腿潰瘍を、動脈の障害により皮下結節や指尖潰瘍、壊疽などがみられる（図 12.20）。SLE 合併例では頬部紅斑、DLE、光線過敏症などが現れうる。皮膚症状以外

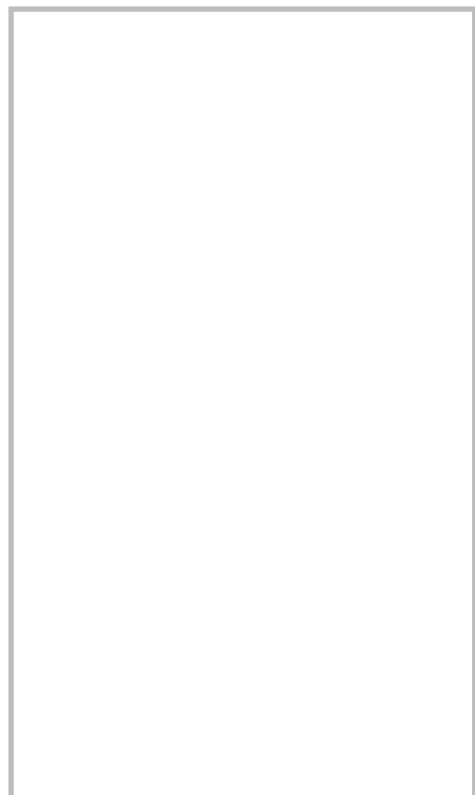


図 12.20 抗リン脂質抗体症候群 (anti-phospholipid antibody syndrome)
高齢女性の下腿部に生じた難治性の皮膚潰瘍および紫斑。抗リン脂質抗体により血管炎を生じ循環不全に陥ってこのような潰瘍が形成される。